



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月15日

上場会社名 太洋物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 9941 URL <https://www.taiyo-bussan.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松島 伸介
問合せ先責任者 (役職名) 総務部 ジェネラルマネージャー (氏名) 井坂 勇登 TEL 03-5946-8000
四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の業績 (2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	9,565	△4.9	△0	—	△34	—	△38	—
2022年9月期第2四半期	10,065	29.5	132	—	120	—	79	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	△20.10	—
2022年9月期第2四半期	49.95	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第2四半期	7,209	492	6.6	248.61
2022年9月期	8,235	564	6.7	287.47

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 480百万円 2022年9月期 555百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.5	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期 (累計) の業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付書類P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

営業利益、経常利益、当期純利益については、「—」となっておりますが、現時点での合理的予想が困難であるため、ともに「未定」となっております。詳細は2月14日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年9月期2Q	1,934,019株	2022年9月期	1,934,019株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	753株	2022年9月期	753株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年9月期2Q	1,933,266株	2022年9月期2Q	1,599,666株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスが収束に向かいつつある中で、国内外における経済社会活動が正常化に向かっており、景気を持ち直しの動きが見えているものの、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や国際情勢による原材料価格の上昇及び供給面での制約等により先行きが不透明な状況が依然として続いているなかで、当第2四半期会計期間末を迎えました。

このような環境の下、当社の主要事業である食肉関連においては、営業利益率及び資金効率の向上を目的として、当事業年度より輸入鶏肉の取扱を縮小し、加工食品をはじめとする利益率の高い商材へ取扱をシフトしてまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は、95億65百万円(前年同四半期累計期間比4.9%減)、営業損失0百万円(前年同四半期累計期間は営業利益132百万円)、経常損失34百万円(前年同四半期累計期間は経常利益120百万円)、四半期純損失38百万円(前年同四半期累計期間は、四半期純利益79百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(食料部)

鶏肉については、輸入鶏肉の縮小を進めたこともあり、売上高・取扱数量ともに減少となりました。一方で当第2四半期累計期間より取引を開始している国産鶏肉が徐々に成約を積み上げることができ、売上高・取扱数量は増加しました。牛肉は外食産業への販売をメインとしており、厳しい状況が続いておりますが新規アイテムの成約等もあり、売上高・取扱数量ともに増加いたしました。タイ産加工食品は、産地価格の高騰はあるものの現地生産工場のコロナ禍での操業停止等が解除され、利益率の高い商材の販売を成約させることができました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、46億91百万円(前年同四半期累計期間比3.1%増)となりました。

(営業開拓部)

農産品は、大豆等の産地価格の高騰や産地国の輸出規制の影響等によりその他の取引が伸び悩みましたが、新規契約の取引が順調に進んでおり、売上高・取扱数量共に増加しました。一方で2020年9月期より取引を始めた中国のネット通販事業者向け商材の販売は、中国市場の潜在的需要の高さを背景に取扱商品を着実に増やしておりますが、春節前の中国国内においてコロナ政策の大きな転換に伴う一時的な混乱が影響したことから取引量が一時的に減少したことが影響し、売上高・取引数量共に減少となりました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、39億16百万円(前年同四半期累計期間比13.6%減)となりました。

(生活産業部)

輸入豚肉に関しましては、現地価格の高騰及び市場の在庫過剰感は沈静化しつつありますが、入船遅れの影響等もあり、売上高・取扱数量共に減少となりました。

この結果、当第2四半期累計期間での売上高は、9億57百万円(前年同四半期累計期間比2.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、商品の減少、売上債権の減少等に伴い、前事業年度末に比べ10億26百万円減少し、72億9百万円となりました。

負債につきましては、主に借入金の返済、仕入債務及び未払消費税等の減少により前事業年度末に比べ9億54百万円減少し、67億17百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上及び繰延ヘッジ損益の増加により前事業年度末に比べ72百万円減少し、4億92百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ、9億57百万円増加し、12億77百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、13億34百万円(前年同四半期累計期間は11億42百万円の使用)となりました。これは主に、棚卸資産11億79百万円と売上債権7億48百万円の減少による収入に対し、税引前四半期純損失34百万円、仕入債務5億29百万円の減少等による支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、0百万円(前年同四半期累計期間は2百万円の獲得)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億76百万円(前年同四半期累計期間は2億45百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金3億74百万円の純減によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の通期業績予想については、現段階においては不透明であることから、現段階では2023年2月14日発表の予想のとおり、未定としております。今後状況の進展及び事業の進捗を踏まえ、適正かつ合理的な算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	320,126	1,277,256
受取手形及び売掛金	4,398,704	3,650,618
商品	2,592,884	1,413,677
その他	394,181	343,693
流動資産合計	7,705,896	6,685,246
固定資産		
有形固定資産	228,905	225,827
無形固定資産	2,859	2,859
投資その他の資産	298,151	295,697
固定資産合計	529,916	524,384
資産合計	8,235,813	7,209,630
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,154,025	624,763
短期借入金	5,949,610	5,574,996
未払費用	345,632	184,433
その他	74,808	198,590
流動負債合計	7,524,077	6,582,784
固定負債		
退職給付引当金	107,875	99,319
その他	39,161	35,001
固定負債合計	147,036	134,320
負債合計	7,671,113	6,717,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	257,792	257,792
資本剰余金	157,792	157,792
利益剰余金	130,455	91,581
自己株式	△969	△969
株主資本合計	545,071	506,197
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	10,699	△25,555
評価・換算差額等合計	10,699	△25,555
新株予約権	8,927	11,883
純資産合計	564,699	492,526
負債純資産合計	8,235,813	7,209,630

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	10,065,648	9,565,994
売上原価	9,665,405	9,343,479
売上総利益	400,243	222,514
販売費及び一般管理費	267,556	222,607
営業利益又は営業損失(△)	132,686	△93
営業外収益		
受取賃貸料	4,867	5,129
助成金収入	1,809	—
為替差益	15,516	—
その他	2,049	1,292
営業外収益合計	24,242	6,421
営業外費用		
支払利息	27,855	27,835
為替差損	—	7,726
その他	8,431	4,918
営業外費用合計	36,287	40,480
経常利益又は経常損失(△)	120,641	△34,151
特別損失		
減損損失	23,396	—
特別損失合計	23,396	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	97,244	△34,151
法人税、住民税及び事業税	18,064	4,159
法人税等調整額	△726	562
法人税等合計	17,338	4,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79,905	△38,873

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	97,244	△34,151
減価償却費	4,344	3,747
減損損失	23,396	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,356	△8,555
受取利息及び受取配当金	△41	△19
支払利息	27,726	27,835
為替差損益 (△は益)	△3,006	△105
売上債権の増減額 (△は増加)	△921,321	748,085
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△413,790	1,179,206
仕入債務の増減額 (△は減少)	99,660	△529,261
前渡金の増減額 (△は増加)	86,645	△92,704
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△16,785	131,526
未払費用の増減額 (△は減少)	87,561	△161,199
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△151,868	60,707
その他	1,044	50,596
小計	△1,085,544	1,375,706
利息及び配当金の受取額	41	19
利息の支払額	△25,505	△25,978
法人税等の支払額	△31,614	△15,688
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,142,623	1,334,059
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△669
その他	2,456	576
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,456	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△236,939	△374,614
長期借入金の返済による支出	△8,680	△2,328
財務活動によるキャッシュ・フロー	△245,619	△376,942
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,006	105
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,382,778	957,130
現金及び現金同等物の期首残高	1,881,724	320,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	498,945	1,277,256

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,546,772	4,538,416	980,459	—	10,065,648
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,546,772	4,538,416	980,459	—	10,065,648
セグメント利益又は損失(△)	172,586	66,141	8,106	△114,147	132,686

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△114,147千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	全社	合計
減損損失	—	—	—	23,396	23,396

(注) 「全社」の金額は、セグメントに帰属しない全社資産に係わる減損損失であります。

II 当第2四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	食料部	営業開拓部	生活産業部	調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,691,534	3,916,705	957,754	—	9,565,994
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,691,534	3,916,705	957,754	—	9,565,994
セグメント利益又は損失(△)	34,227	31,219	7,570	△73,110	△93

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△73,110千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。